

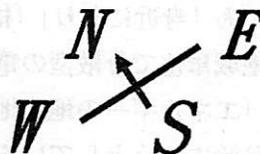
藤沢

2015年3月1日

第250号

エコネット

藤沢環境運動市民連絡会議
(略称) 藤沢エコネット



主な記事

- ・市民型エネルギーの地産地消
- ・「日本と原発」を観て
- ・武田問題 大清水排水受入協定書審議不要
- ・リフレッシュ活動6回 ・放射能測定値

http://members3.jcom.home.ne.jp/fujisawa_econet/
事務局 e-mail: aoyagipc@jcom.home.ne.jp 青柳
☎ / FAX 0466-87-4922

再び、ごみ有料化を市議選挙の争点に！

藤沢市議会選挙が迫っています。4年前、われわれ市民団体は、「ごみ有料化を市議選の争点にしよう」と訴えました。しかし、この4年間、有料化は相変わらず続いています。今度の市議選には、市民の声を反映した選良（市議）を選びたいものです。

ごみ有料化の現状について、全国の有料化実施率は62.6%、神奈川県は、「藤沢市と大和市」「二宮町」だけが有料化し、実施率は、9.1%。有料化人口比率で見ると、全国では、40.7%、神奈川県では7.5%であり、藤沢市は100%となります。

ごみ袋の単純従量制・大袋40L1枚の価格帯別都市数でみると、10円未満から、90円以上まで10段階あり、80円以上の市は、北海道30、東京9、兵庫2、福岡1、神奈川1（藤沢）です。ごみ1人1日当たり排出量は、藤沢市906gで、周辺市とさほど変わりはありません。

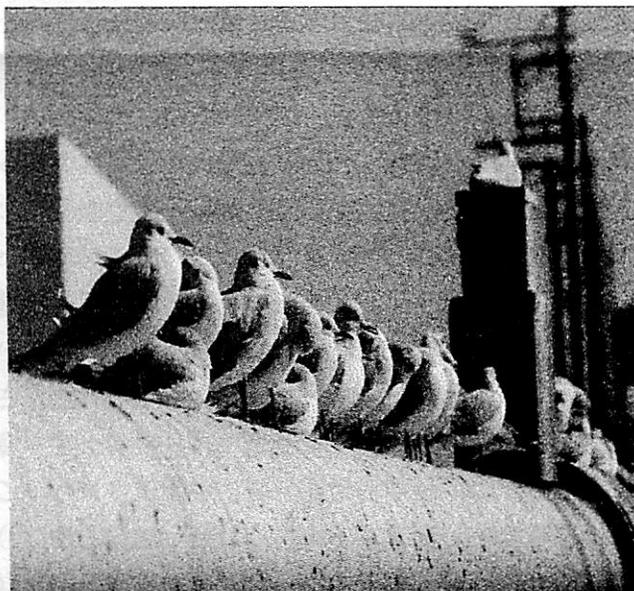
藤沢市は、自主財源比率が全国で8番目に高く（平成25年度74.64%）財源はあるはずなのに、市民が、袋代を無料の周辺市民より年間5億6千万円も余計に強制的に徴収されているということは、早急に格差是正する必要があるのではないかと。

藤沢市ごみ有料化裁判で法令解釈の判断をしなかった最高裁決定について、原告としては、地方自治法上の立法上裁量の問題だと言外に言っているものと解釈し、各自治体が、その地域に適合した、廃棄物条例を制定改廃することは当然出来ることだと思います。

この度、日本共産党藤沢市議員団が、市議選挙政策に「ごみの有料袋は廃止をめざし、当面半額に引き下げを」提案しています。是非、他会派立候補者も対応政策を掲げ、再びごみ有料化を市議選の争点にできないか。

市民の側も、ごみ有料化の現状を把握して、市議選挙に臨みたいものです。

(諏訪謙司)



引地川の給水管で休息するカモメ (矢板氏提)

エネルギーの地産地消をめざす 市民協同発電所

自然界のどこにでも「身近にあり」「枯渇しない」再生可能エネルギーを地域単位で分散型の電力を供給する市民主体の発電所で「エネルギーの地産地消」、「ご当地エネルギー」づくりが始まろうとしている。

これは東電に売電ではなく、作ったエネルギーをその場で消費する（自家消費）、余った分は新電力(PPS)を通して地域に供給する。東電の送電網を利用するため、PPSを活用すると安い、来年4月からは一般家庭でもPPSを通して東電以外から自由に電力を購入できるようになる（経産省発表 2/8NHK）。

CO2削減のために、原発に頼らない自然・再生エネルギーによる循環型社会をめざした学習会が2月1日に市民会館で行われた。

(1) IPCC 第5次評価報告は、講師の平川良信氏（神奈川県地球温暖化防止活動センター、IPCC レポート伝道師）が、スライドとDVDを組合せて、分かり易く話してくれた。当日の配布資料(カラー版 PDF ファイル)を欲しい方は、メール shn-miya@jcom.home.ne.jp を。

近く行われる統一地方選挙立候補予定者には、せめて「概要版（政策決定者に向け要約）」は是非、目を通して読んで戴きたいと思う。

(2) 市民協同発電所づくりについて、話題提供 黒田亘氏（藤沢市地球温暖化対策地域協議会会長）は市がこれから推進する「エネルギーの地産地消推進計画」と連携し、東電に売電するのではなく「エネルギーの地産地消」のしくみづくりをする「市民協同発電所」をつくろうと提案した。

これに先立ち、1/28に藤沢市の「藤沢市エネルギーの地産地消推進計画（素案）」が検討された。「藤沢市地球温暖化対策実行計画」で40%のCO2削減を実現するために、未来の地球環境への投資を行う。その重点プロジェクト①では、市内100か所で自家消費型の太陽光発電施設をつくる。⑤では市民主体型市民発電所づくりについて、具体的な事例とロードマップ（案）が示された。さらに、2/20には藤沢市市議会厚生環境常任委員会で「藤沢市エネルギーの地産地消推進計画」が報告された。これからの課題は、(1)発電する場所 (2)資金調達方法 (3)「組合づくり」の法人化。これらの課題を検討し様々な分野の専門家、実務経験者をはじめ多くの方々に参加して戴きたいと思う。

（宮地俊作）

大清水浄化センターの基本協定廃止問題を審議不要と是認した市議会常任委員会の不見識

2月19日開かれた藤沢市議会建設経済常任委員会は、市民から出されていた「大清水浄化センターの基本協定改廃問題について藤沢市議会での審議を求める陳情」を一人の賛成者も無く不採択としてしまった。

大清水浄化センター（以下大清水セ）の基本協定というのは昭和53年、大清水セ建設当時、藤沢市は近隣住民と協定を結び大清水センターには工場排水は入れないことを約束しものです。これは、産業廃棄物自己処理の原則に則り、藤沢市が一方の当事者となって地域住民と協定したもので、今日まで37年間、藤沢市の河川公害防止の為に大清水協定は立派に機能してきました。

ところが、昨年、突然下水道課が大清水協定廃止の方針を打ち出し廃止理由は①住民との協定は下水道法に照らして違法である ②この協定があるため境川の浄化が進まないというものですが、①の下水道法との関係も、問題無く②は汚濁水防止法も下水道法もクリアーしていることは市の環境部が常々いつてきたところです。

全く問題も無いのに、突然廃止を言い出したのは、この協定で大清水セに工場排水を流さず自社処理してきた工場から下水道料金を徴収しようというためです。

協定を廃止してこれらの企業から新たに下水道料金の徴収は、協定を遵守して自社処理排水設備を作ってきた企業に余計な負担をしいるばかりで無く、工場廃水は自己処理するという藤沢市の環境行政の根幹を変える重大な政策転換です。

市の下水道課は、協定は近隣住民と藤沢市との問題だから市民や議会への説明や了承は不要だといっていますが、大清水協定は、昭和53年当時、近隣住民ばかりで無く、関係者以外の流域住民や一般市民まで巻き込んだ建設反対の運動が起こり、議会でも大論議になって協定が結ばれたものを、廃止については、議会や市民には知らさず、下水道課の判断で決めるのは全く片手落ちと言わなければなりません。

こうした経過から、陳情書では論議を進めてほしいと訴えたのに対し、建設経済常任委員会は、審議不要と不採択を決めてしまったのです。市下水道課の不見識もさることながら、30数年前、議会も交えた大運動で締結された市の基本協定を、何の議論もせず廃止を認める建設常任委員会のいい加減さにもあきれて物も言えないくらいです。

（陳情者小林麻須男）

「日本と原発」を観て

ドキュメンタリー映画「日本と原発」を観たあと監督のトークがあり、現在の原発のあり方や撮影への思いを語っていただき、ぜひ皆さんに観ていただきたいとの思いも強く感じた。

作成の弁護士河合弘之さんは監督、主演、ナレーターとこなし、第1回の作品である。各地の原発運転の差し止め訴訟などに取り組んで、福島第1原発事故後、脱原発が世間になかなか浸透しないもどかしさを感じていたところ友人から「映画を作ったら」といわれたことがきっかけで作った。

福島原発の被災地に足を運び、被災者から話を聞いた。原子力の専門家にもインタビューし小出教授、古賀茂明氏、田中三彦氏などが出てくる。映画では浪江町の町長の言葉が出ないほどの訴えはジーンとくる。飯館村の積み上げられた除染土を詰めたビニール袋と対象に青い空が映し出されて撮影、監督の技術も相当なもの。ひと気のない村に「心なごませ地蔵」も出て来て小学校の校歌が流されていて音楽効果も抜群。こだわって作った映画であり、広く浸透させることが必要である。裁判官に見せるのも目的の一つで伊方原発訴訟の裁判で上映された。

この映画は原発批判の内容である。原子カムラの構造を図示し、監督自ら講義をしたりする場面も出て来る。監督を有名な方をお願いしたら断られ（原子カムラに邪魔された）、しかし有能な方を紹介され面白い作品になった。本気でやると誰かが助けてくれる。海渡弁護士もコンピで映画を手伝ったそうよく出て来る。

日本の現実が外国に伝わっていないので海外にも英語で翻訳して出す準備をしている、特にアジア、中国に観てもらいたい。

映画祭に出展しレッドカーペットを…との抱負も語り、トークの最後に飯館の小学校校歌を歌って下さった。

藤沢でも3月15日に上映予定なので、ぜひ観ていただきたい。（日比 遥）



震災から4年、活動を続けていくこと

自給道場（田んぼ）、柿右衛門農園（畑）をしています。柿右衛門農園は藤沢市打戻に就農しました。311がなかったら農家にはなっていなかったです。あの衝撃がお米を作ろう、野菜を作ろう（柿右衛門農園）、自給して生活能力を高めようと決意させてくれました。

震災の余震や原発の動き、すべてが初めてのことでした。それからイマジンで勉強して、デモやお祭りに参加。その中で母親達の、自分以外に守るべき、愛すべき存在がいることで、人は強くなれるのだということを知り、以前より活動されている先輩方やリーダーシップをとってくれる人たちのサポートすることで、世の中をよくしたいと思っていました。

でも頑張るほど空回りしていて、行動することで後悔や不安や恐れなどをごまかしているようにも、また、なんで周囲の人たちは理解してくれないのかと不満をためていました。

そんな中、私自身が妊娠、出産をし、今までのようには活動できないので、無理なくできる自宅での映画上映を企画。そうすると心に余裕ができて、自然と告知ができるように。楽しいので興味あつたらきてよと言えるようになりました。映画のテーマとして、農業や種、農薬や遺伝子組み換えや放射能のこと福島の子供たちのことです。

私たちはおいしいものを食べたとき、思いを共感してもらえたとき、ちょっと心があたたかくなってちょっとほっこりできる。

そんなお野菜や空間をつくっていきたいと思っています。土を耕し種をまき、お野菜でごはんを作り、自然な営みの中で生活できる幸せを感じています。

また主人の育てた野菜をおいしいといって食べてくれるお客さんや仲間が私たちの原動力です。色々問題は山積していて、危機感はもっていますがあきらめてはいません。

共に歩んでいける仲間と楽しさをもって伝えていけるように、またたくさんの笑顔をみられるように活動を続けていきたいと思っています。

（イマジン湘南 柿田悦子）

「春の ふくしまっ子リフレッシュ in
湘南&こどもの国」ご支援のお願い

放射能の影響で数々の困難の中に過ごす福島の子どもたちを春休みに湘南に招きます。

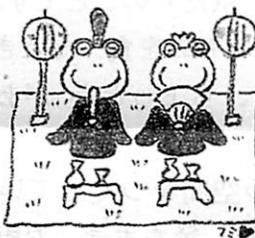
6回目となりますが、昨年と同様に、皆さまの厚いご支援をお願い致します。資金とボランティアを募集しています。移動時の見守りや案内、車の運転、荷物運搬などお手伝い出来る方はお申し出ください。

日程 3月28日(土)～4月1日(水)
28日、29日はこどもの国、30日31日は
日大生物資源科学部宿舎に宿泊します。

主催：福島の子どもたちとともに・湘南の会
連絡先 電話090-5099-4264
メール aeyagipc@jcom.home.ne.jp 青柳

放射能測定値

日本大学で計測しました (HOROBA Radi) 単位(μ Sv/h)	
バラ園前	0.045
7号館前	0.053
食堂内	0.048
食堂棟前	0.044
宿泊棟前	0.053



ECONET INFORMATION

せっけんを使った汚れ落とし

3月19日(木) 10:00～

場所：リサイクルプラザ藤沢 環境啓発施設

講師：藤沢市せっけん推進協議会

洗いたい ダウンやセーター、エプロン、バスタオル
2枚、洗ったものを持ち帰るビニール袋を持参

申込み 3/2(月) 9:00より

電話 44-1998

ECONET INFORMATION

3. 8反原発大集会国会大包囲

福島を忘れるな！再稼働許すな

3月8日(日) 13:00 大集会日比谷音楽堂

14:00 巨大請願デモ 国会包囲

15:30 国会前大集会

主催 さよなら原発 1000万人アクション実行委員会

映画「日本と原発」と海渡弁護士のトーク

3月15日(日) 13:00- 16:30-(2回)

場所 藤沢カトリック教会(藤沢駅南口すぐ)

主催「日本と原発」上映実行委員会

TEL: 090-9232-8846



◎「地産地消エネルギーをすすめる藤沢市民の会」

日時：2015年3月22日(日) 14:00-16:00

場所：ゆっくり庵(遊行通り寿ビル2F)

電話 24-9880) JR 藤沢北口徒歩5分

内容：市民共同発電所づくりの基本構想

どなたでも参加大歓迎です！

問合せ 090-6186-0452(宮地)

E-mail: shn-miya@jcom.home.ne.jp

藤沢エコネットから

会費・購読料の納入をお願いします

ゆうちょ銀行 (9900) 店番 (029)

当座預金 0046501 73 サイネット

(従来用紙の方法も利用できます)

会員募集=年会費・購読料→3000円

◎事務局会議 3月13日(金) 10:00～

市民活動推進センター

《編集後記》東日本大震災から5年目を迎え、避難者はいまだ約23万人、5年の集中復興期間は残り1年となる。復興予算26兆円を計上したが、道路、鉄道、防潮堤の整備を急ぎ、一方で現地は人口減少が続いている。人々の暮らしの復興に繋がっているのか疑問である。甲状腺がん児童は疑い含め117人、原発事故の影響と言わざるを得ない(A)